



IBM API Connect

API利用に対する課金機能利用ガイド

Mar, 2018
IBM Hybrid Cloud,
IBM Japan



Disclaimer

■ 当資料の位置づけ

- 当資料は IBM API Connect v5.0.7.2でリリースされた新機能の、API利用に対する課金機能について、その構成方法と考慮点をまとめたものです。
- API Connect V5.0.8.2を前提としています。

※API管理サーバのifixレベルのバージョンはV5.0.8.2_20180122-0216_5452c4cb568d

※開発者ポータルのifixレベルのバージョンはV5.0.8.2-iFix-20180306-2206

■ 注意事項

- 当資料に含まれる情報は可能な限り正確を期しておりますが、当資料に記載された内容に関して何ら保証するものではありません。ここでの記載内容はあくまでも支援情報であり、使用者の責任において取扱われるものとし、資料の内容によって受けたいかなる損害に関して一切の保証をいたしません。
- 製品の新しいリリース、修正などによって動作／仕様が変わる可能性がありますので、必ずマニュアル等で最新の情報をご確認ください。

目次

1. 新機能概要

1-1 API利用に対する課金機能の概要

1-2 請求/支払いの基本シナリオ

2. 設定と利用ガイド

2-1 API製品管理者側の設定と利用手順

2-1-1 Stripeアカウントの取得

2-1-2 Stripeアカウントの公開キー/秘密キーの取得

2-1-3 請求情報の登録

2-1-4 製品への課金プランの適用と公開

2-1-5 Stripeダッシュボード上の支払い情報の確認

2-2 APIを使用（利用登録）する利用者側の設定と利用手順

2-2-1 支払い用クレジットカード情報の登録

2-2-2 API製品の利用登録

2-2-3 API製品の利用停止（登録解除）

3. 新機能利用における考慮点

3-1 API製品管理者側の考慮点

3-1-1 API製品提供する組織とStripeアカウントとの紐付け

3-1-2 製品公開におけるカタログのモード制限

3-1-3 Stripeテスト環境の利用と本番環境への切替え

3-2 API利用者側の考慮点

3-2-1 開発者組織とクレジットカード情報の紐付け

3-2-2 複数のアプリケーションで配信登録した場合の考慮点

3-2-3 支払いに利用できるクレジットカードの種類

3-2-4 支払いが発生するタイミング

3-2-5 通貨の異なる複数のAPI製品プランの利用登録における注意点

4. 参照情報



1. 新機能概要

1-1 API利用に対する課金機能の概要

1-2 請求/支払いの基本シナリオ

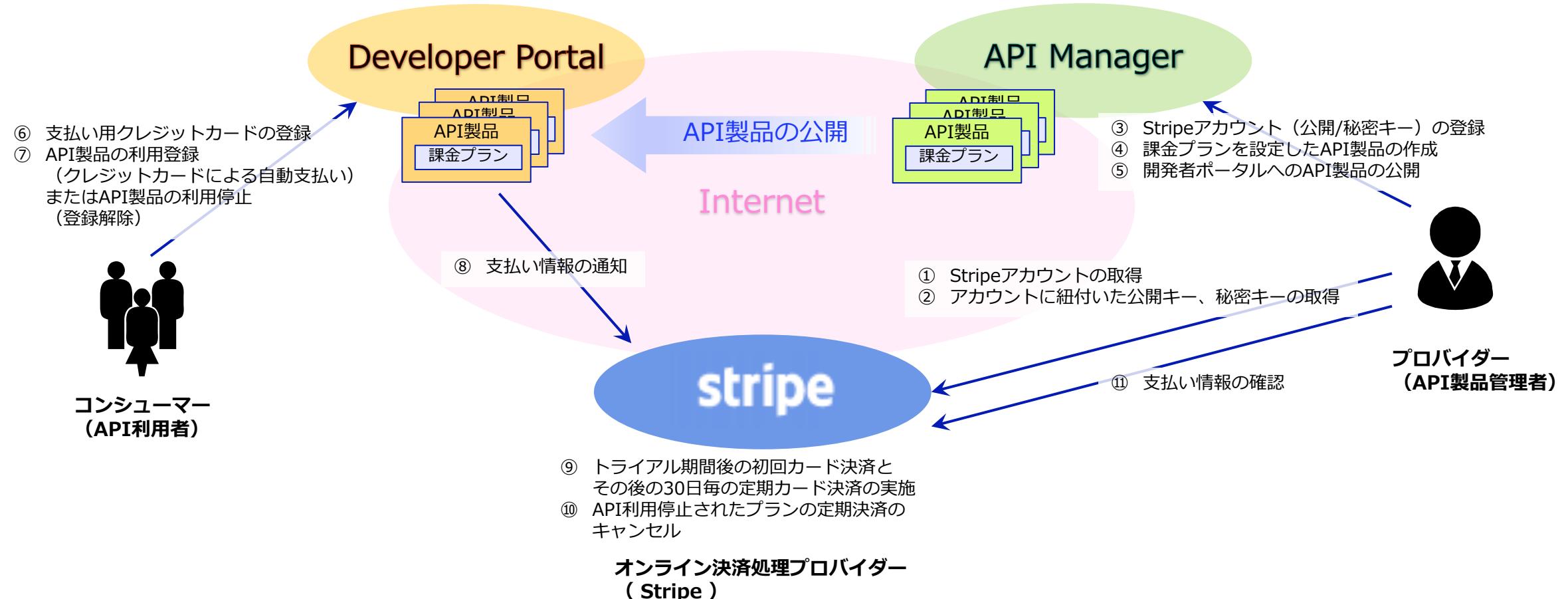


1-1 API利用に対する課金機能の概要

- API Connect バージョン 5.0.7.2 以降、APIに対する課金機能が提供されています。
APIを提供するプロバイダーは、API製品に対して利用可能なAPIのセットとアクセスレート制限に応じた課金設定プランを作成・公開し、APIを利用するコンシューマーは公開されたプランを利用登録し、オンライン決済処理プロバイダーである [Stripe](#) を通じてクレジットカードによる支払いを行うようになりました。
- プロバイダーは提供するAPI製品に対して、利用可能なAPIのセットとアクセスレート制限を指定したプランごとに各種通貨にて月額課金プランを設定することができます。また、新規の利用者向けに無料試用期間の日数を設定することができます。
- プロバイダーはStripeアカウントを利用して、Stripeの提供するダッシュボード上でAPI利用に対する支払いを管理します。
- コンシューマーは開発者ポータルで公開されたAPI製品を利用登録/登録解除します。
API製品の利用登録に対する支払いは事前に登録しておいたクレジットカードにて行います。

1-2 請求/支払いの基本シナリオ

- API製品への課金請求/支払いの基本的なシナリオを以下のチャートに示します。
- 次章で説明する設定手順もこのシナリオに沿って説明します。





2. 設定と利用ガイド

2-1 API製品管理者側の設定と利用手順

2-2 APIを使用（利用登録）する利用者側の設定と利用手順



2-1 API製品管理者側の設定と利用手順

2-1-1 Stripeアカウントの取得

[手順1] Stripeアカウントの取得を <https://dashboard.stripe.com/register> で行います。

アカウント作成の画面にて必要事項を入力し、作成を実行すると、メールアドレスに確認メールが届きます。

メールの指示に従い、認証確認を行うことでアカウント用のダッシュボード画面に入ることができます。これで登録は完了です。

※登録した直後はテスト環境のみが利用できる状態です。後述する請求情報の登録に必要な公開/秘密キーもテスト用となります。

本番環境利用するときはStripeのガイドに従い、本番環境利用の申請を行ってください。

(詳細は 3-1-3 Stripeテスト環境の利用と本番環境への切替え を参照ください。)



stripe

Stripe アカウントの作成

メール
名前
パスワード
パスワードの確認

私はロボットではありません reCAPTCHA プライバシー・利用規約

Stripe アカウントを作成

メールによる
認証確認後



Stripeダッシュボード画面

2-1 API製品管理者側の設定と利用手順

2-1-2 Stripeアカウントの公開キー/秘密キーの取得

[手順1] API ConnectとStripeアカウントを紐付ける公開キー/秘密キーを取得します。

ダッシュボード画面の左ペイン内の"API"をクリックし、公開キーと秘密キーを取得します。

※主となるStripeのログインアカウントの元に複数のアカウントを作成することができます。

キーはこのアカウント毎に作成できるので、支払い管理を複数に分割する場合には、必要に応じてアカウントを作成してください。
(デフォルトでは、"名称未設定のアカウント"となっています。)



キーの名前	トークン	最終使用日	作成日
公開可能	pk_test_mbHl4xXEH0zz5wP5bnMbicE	—	2018年2月28日 ***
シークレットキー	sk_test_0b1QCvI9iGy9tWCK7VeItdic	—	2018年2月28日 ***
制限付きのAPIキー			
キーの名前	トークン	最終使用日	作成日
制限付きのキーはありません			

2-1 API製品管理者側の設定と利用手順

2-1-3 請求情報の登録

2-1-2で取得したStripeアカウントの公開キーと秘密キーをAPI Managerに登録します。

[手順1] API Managerにログインします。

※組織に対して、1:1でStripeアカウントを登録することになります。
(詳細は 3-1-1 API製品提供する組織とStripeアカウントとの紐付け を参照ください。)

[手順2] ナビゲーションメニューで”管理”をクリックし、管理画面を開いて”請求”タブをクリックすると、請求統合の画面が表示されます。

The screenshot illustrates the workflow for managing Stripe account integration in the IBM API Connect Management interface.

API Manager ナビゲーションメニュー (Left): Shows the navigation menu with "管理" (Management) highlighted.

管理画面 (Middle Left): Shows the main management dashboard with a list of roles: "組織の所有者" (Organization Owner), "管理者" (Manager), "製品管理者" (Product Manager), and "API 開発者" (API Developer). A red arrow points from the "管理" menu item to the "Request" tab in the dashboard header.

請求統合画面 (Middle Right): Shows the "Request Integration" screen. The "Request" tab is selected. It displays a message: "この組織に対して請求統合は定義されていません。" (No request integration is defined for this organization).

Header Across Screens: The header for all three views includes the URL "https://apim1.example.com/apim/#/admin/roles", search bar, and navigation icons.

2-1 API製品管理者側の設定と利用手順

2-1-3 請求情報の登録（続き）

[手順3] 請求統合の画面にて、"追加"をクリックし、表示される"Stripe統合"を選択すると、Stripe アカウントの追加画面が表示されるので、2-1-2で取得した公開キーと秘密キーをそれぞれ入力し、作成ボタン押して作成します。
Stripeアカウントが表示され、状況が"接続済み"になれば、登録は完了です。

The diagram illustrates the steps to add a Stripe integration account in the IBM API Connect interface:

- 請求統合画面 (Request Integration Page):** Shows the main interface with a "追加" (Add) button highlighted by a red dashed oval.
- Stripeアカウントの追加 (Add Stripe Account) Dialog:** A modal window titled "Stripeアカウントの追加". It contains fields for "Stripe 公開鍵" (pk_test_psoWKNKJ7SuqCQvzbIvaOk1c) and "Stripe 秘密鍵" (sk_test_8CsHZY4cGNicJWrV8fy0ChNL). Both fields are highlighted with red dashed ovals. The "作成" (Create) button at the bottom right is also highlighted with a red dashed oval.
- 取得したStripe公開キーと秘密キーを入力 (Enter the obtained Stripe public key and secret key)**: A note indicating the keys entered in the dialog.
- 請求統合画面 (Request Integration Page) - Final State:** Shows the newly added "Stripe 統合" (Stripe Integration) entry in the list. The name is "APICQIT03" and the status is "接続済み" (Connected). This row is highlighted with a large red dashed oval.
- Stripeアカウントが表示され、状況が"接続済み"になればOK。 (The Stripe account is displayed, and the status is "Connected". If so, it's OK.)**: A note confirming the successful addition of the Stripe account.

2-1 API製品管理者側の設定と利用手順

2-1-4 製品への課金プランの適用と公開

※製品とその製品に含まれるAPIは設定済みであることを前提として、以下プランの設定から説明しています。

作成されたAPI製品に課金プランを作成して適用します。

[手順1] API Managerにログインします。“製品”タブをクリックし、製品一覧から課金対象のAPI製品をクリックします。
製品設計情報が表示されるので、左ペインから“プラン”をクリックします。定義されているプランが一覧表示されます。

[手順2] 一覧から既存のプランを開くか新規でプランを追加します。

The screenshot illustrates the workflow for managing pricing plans in IBM API Connect:

- API Manager 製品一覧画面 (Left):** Shows the list of products. A red circle highlights the product title "PROD_Readjson_03 1.0.0". An arrow points from this title to the "Plan" section in the middle panel.
- 製品設計画面 (Middle):** Shows the detailed view of the selected product "PROD_Readjson_03 1.0.0". The "Plan" section is highlighted with a red circle. An arrow points from this section to the "Plan" section in the right panel.
- 新規で作成する場合はココをクリック (Right):** Shows the "Plan" creation dialog. It includes fields for "Title" (PROD_Readjson_03), "Name" (prodreadjson03), and "Version" (1.0). A red circle highlights the "Create" button (+) in the top right corner.
- 既存プランを開く (Bottom):** Shows an existing plan named "Test_Plan_01" with the note "承認は不要, 5分ごとに1件の要求" (Approval is not required, 1 request every 5 minutes).

2-1 API製品管理者側の設定と利用手順

2-1-4 製品への課金プランの適用と公開（続き）

[手順3] 展開されたプラン設定項目の中の“請求モデル”の値（デフォルトは“なし”）をクリックし、“毎月サブスクリプション”を選択します。

[手順4] 通貨、月額、無料トライアル日数入力欄が追加されるので、それぞれ選択または入力し、値を設定します。

無料トライアルを設けない場合は値を0にします。（0にした場合は利用者が利用登録すると即時に支払いが発生します。）
入力が完了したら、設定を保存します。

The screenshot shows two views of the product configuration interface. On the left, a summary view lists the plan name 'Test_Plan_01' and its current model as 'なし'. A red arrow points from the '請求モデル' field to a detailed configuration view on the right. In the detailed view, the '請求モデル' dropdown is set to 'なし', and a red box highlights the option '毎月サブスクリプション'. This option is selected and highlighted with a blue background. A red arrow points from this selection to the right-hand configuration panel. The right-hand panel contains fields for '通貨' (USD - 米国ドル), '月額' (100), and '無料トライアル日数' (0). A red dashed box encloses these three fields. A red arrow points from the bottom right of this box to a save icon (cloud with a checkmark) which is also circled in red. The text '入力したら保存する' (Save after input) is written next to the save icon.

タイトル
Test_Plan_01

名前
Test_Plan_01

説明

請求モデル
なし

請求モデル

なし
毎月サブスクリプション
レート制限 (呼び出し数/時間間隔) +

請求モデル
毎月サブスクリプション

通貨
USD - 米国ドル

月額 * 100

無料トライアル日数 * 0

レート制限 (呼び出し数/時間間隔) +
rate-limit-1
1 / 5 分 ✓ ハード制限の強制

入力したら保存する

2-1 API製品管理者側の設定と利用手順

2-1-4 製品への課金プランの適用と公開（続き）

[手順5] 課金プランが設定された製品を公開します。

前段で設定・保存が完了した製品を公開先カタログにステージングします。

カタログ画面から対象製品が“ステージング済み”となっていることを確認して、製品を公開します。

対象製品の状態が“公開済み”になれば完了です。

※課金プランが設定された製品の場合、公開先のカタログの開発モードがオンになったまま公開しようとするとエラーになります。

公開先のカタログは事前に開発モードをオフにしておきます。（詳細は 3-1-2 製品公開におけるカタログのモード制限 を参照ください。）

The screenshot shows the IBM API Connect catalog interface. A red arrow points from the top-left navigation bar to the 'Upload' icon, which is highlighted with a red circle. Another red arrow points from the main catalog list to a detailed view of a product row, also highlighted with a red circle. A third red arrow points from the detailed view back to the catalog list, highlighting the status column.

カタログ内製品一覧画面

タイトル	状態
prodreadjson03:1.0.0	ステージング済み 数秒前
prodreadjson04:1.0.0	公開済み 19時間前
prodreadjson05:1.0.0	公開済み 8日前

カタログにステージング

ダッシュボード

検索

APIC_TEST

ステータス

新規

既存

既存の製品の置換

既存の製品の取り替え

可視性の編集

製品の分析

タイトル

状態

prodreadjson03:1.0.0

公開済み 19時間前

製品の状態が“公開済み”になればOK

2-1 API製品管理者側の設定と利用手順

2-1-5 Stripeダッシュボード上での支払い情報の確認

※以下、公開したAPI製品が利用者（コンシューマー）に利用登録された後に、API製品管理者が支払いを確認する手順です。

[手順1] <https://dashboard.stripe.com/> にアクセスし、Stripeダッシュボードを開きます。

[手順2] 左ペインのメニューで“支払い”をクリックすると、ログインしているStripeアカウントに対する支払いの一覧が表示されます。

同様に、メニューから“顧客”、“定期支払い”などを選択することで、それぞれの情報を確認できます。

※Stripe画面機能詳細はStripeのガイドを参照ください。

The screenshot shows the Stripe Dashboard interface. On the left sidebar, '支払い' (Payments) and '定期支払い' (Recurring Payments) are highlighted with red circles and arrows pointing to their respective sections.

Stripeダッシュボード画面

- 支払い**: Shows a summary for today (\$0.00) and yesterday (\$0.00). A red arrow points from this section to the '支払い一覧画面' (Payment History) table.
- 定期支払い**: Shows a total amount of \$92.49. A red arrow points from this section to the '(その他の例) 定期支払い一覧画面' (Other Examples) table.

支払い一覧画面

金額	説明	顧客	日付	操作
¥ 500	ch_1COPW4JJyln7XwPN8LJfdKrf	e27665@gmail.com	2018/02/28 16:38:20	...
¥ 5,000	ch_1BzelRJJyln7XwPN8LJvEeVT	e27665@gmail.com	2018/02/26 14:43:05	...
¥ 3,000	ch_1BzbhZJJyln7XwPN1BVHykvR	e27665@gmail.com	2018/02/26 11:26:53	...
¥ 1,500	ch_1Byzb1JJyln7XwPN5ywOaMcR	e27665@gmail.com	2018/02/24 18:45:35	...
¥ 10,000 (失敗)	ch_1ByBdTJJyln7XwPNJR7nbKR1	e27665@gmail.com	2018/02/22 13:24:47	...

(その他の例) 定期支払い一覧画面

顧客	ステータス	請求方法	商品	作成日	操作
e27665@gmail.com	トライアル中	自動	PROD_Readjson_11:1.0.0:Test_Plan_18	2018/03/01 16:12	...
e27665@gmail.com	トライアル中	自動	PROD_Readjson_11:1.0.0:Test_Plan_19	2018/03/01 16:11	...
e27665@gmail.com	有効	自動	PROD_Readjson_09:1.0.0:Test_Plan_16	2018/02/26 11:26	...
e27665@gmail.com	有効	自動	PROD_Readjson_08:1.0.0:Test_Plan_15	2018/02/23 17:43	...
e27665@gmail.com	有効	自動	PROD_Readjson_04:1.0.0:Test_Plan_11	2018/02/21 13:38	...

支払いの詳細

¥ 5,000 JPY

返金 + メモを追加

✓ 成功した支払い
2月26日 午後2:43

0 Stripe risk evaluation: normal
2月26日 午後2:43

ID: ch_1BzelRJJyln7XwPN8LJvEeVT
金額: ¥ 5,000 → \$46.25
手数料: \$1.64
純売上: \$44.61
支払い日: 2018/02/26 14:43:05
説明: 説明がありません

メタデータ

各行をクリックすることで、より詳細な情報を確認できます。

2-2 APIを使用（利用登録）する利用者側の設定と利用手順

2-2-1 支払い用クレジットカード情報の登録

[手順1] 開発者ポータルにログインします。開発者組織を、支払い情報を登録する対象の開発者組織を選択します。

※開発者組織に対して、1:1で支払い用クレジットカード情報を登録することになります。

(詳細は 3-2-1 開発者組織とクレジットカード情報の紐付け を参照ください。)

[手順2] ログインユーザーメニューから“自分の組織”を選択します。自分の組織の管理画面が表示されます。

支払い情報を登録する対象の
開発者組織を選択する（手順1）

開発者ポータル画面

IBM API Connect /dev

e27665@gmail.com Group01

Home Getting started API 製品 アプリケーション Blogs Forums Support

ログインIDをクリックし
表示されるメニューから
“自分の組織”を選択（手順2）

Innovate with our APIs

Welcome to our API portal where you will find a great selection of APIs for your awesome innovative apps

Featured APIs

Latest forum posts and tweets

There are no posts to display.

アカウント情報

マイ・ブックマーク

自分の組織

組織の作成

ログアウト

IBM API Connect /dev

e27665@gmail.com

Home Getting started API 製品 アプリケーション Blogs Forums Support

自分の組織

管理 分析 Billing

Edit organization Change ownership Delete organization

E 27665 @ GMAIL.COM 状況: ACTIVE

ロール: 組織の所有者

2-2 APIを使用（利用登録）する利用者側の設定と利用手順

2-2-1 支払い用クレジットカード情報の登録（続き）

[手順3] “Billing”タブをクリックすると、登録されているカード情報が表示されます。更新ボタンをクリックします。

[手順4] 決済情報の入力画面が表示されるので入力し、更新を実行します。これで登録は完了です。

※日本ではStripeで利用できるクレジットカードはVISA、Master、AMEXの3種類です。

※Stripeテスト環境で支払いのテストを実施する場合は、テストカード情報が提供されています。

こちら(<https://stripe.com/docs/testing#cards>)を参照してください

The screenshots illustrate the steps to update billing information:

- Left Screenshot (IBM API Connect /dev):** Shows the 'Billing' tab highlighted in the navigation bar. A red arrow points from the 'Billing' tab on the main menu to the 'Billing' tab on the current page.
- Middle Left Screenshot:** Shows the 'Billing' page with fields for Name, Email, and Credit card information. A red arrow points from the 'Update' button at the bottom left to the 'Update Billing Details' button on the right.
- Middle Right Screenshot:** Shows the 'Update your Billing Information' dialog with fields for Name, Email, Address, and Credit card details. A red box highlights the credit card input field (ending in 4242 and expiring 1/20). A red arrow points from the 'Update Billing Details' button to the 'Submitted' status in the final screenshot.
- Right Screenshot:** Shows the updated billing information reflected in the 'Billing' tab. A red dashed box highlights the updated credit card details: Name: e27665, Email: e27665@gmail.com, Credit card: Card ending in: 4242, Card expiration: 1/20.

2-2 APIを使用（利用登録）する利用者側の設定と利用手順

2-2-2 API製品の利用登録

API製品を利用登録するアプリケーションを登録します。

[手順1] 開発者ポータル画面にて、“アプリケーション”タブをクリックします。

[手順2] “新しいアプリケーションの作成”ボタンを押して、表示されるアプリケーションの登録画面から必要事項を入力します。
入力が完了したら“送信”ボタンを押して、正常に処理されたメッセージが表示されればアプリケーションの登録は完了です。

The screenshot illustrates the steps to register a new application:

- 開発者ポータル画面 (Developer Portal Home):** Shows the main navigation bar with "API 製品" (API Product) selected. A red dashed circle highlights the "アプリケーション" (Application) tab.
- アプリケーション一覧画面 (Application List View):** Shows a message "アプリケーションが見つかりませんでした。" (No applications found). A red dashed circle highlights the "+新しいアプリケーションの作成" (Create New Application) button.
- アプリケーションの登録 (Application Registration):** This screen is titled "正常に作成できることを確認" (Confirm successful creation). It shows a success message: "• アプリケーションが正常に作成されました。" (The application was created successfully.) and "• あなたのクライアント・シークレット:" (Your client secret). A red dashed circle highlights this message area.
- 送信して作成 (Send to Create):** A red arrow points from the "送信" (Send) button in the registration form to the confirmation message on the registration screen.

2-2 APIを使用（利用登録）する利用者側の設定と利用手順

2-2-2 API製品の利用登録（続き）

登録したアプリケーションにてAPI製品を利用登録します。

[手順3] 開発ポータル画面にてAPI製品を開きます。

※“API製品”タブをクリックし、公開されている製品を選択してプランが確認できます。

[手順4] 利用登録するプランにある“配信登録”ボタンを押すと、配信登録画面が表示されます。利用登録するアプリケーションを選択し、“配信登録”ボタンを押します。正常に処理されたメッセージが表示されれば完了です。
※支払いのタイミングの詳細は 3-2-4 支払いが発生するタイミング を参照ください。

The figure consists of three screenshots of the IBM API Connect /dev interface:

- API製品画面 (Left):** Shows the main API product page for "PROD_Readjson_03 1.0.0". It displays a plan named "Test_Plan_01" with a duration of "1/5 分" and a price of "100 USD per month". A red dashed oval highlights the "配信登録" (Delivery Registration) button at the bottom right of the plan details.
- 利用登録するアプリケーションを選択して配信登録 (Middle):** A modal window titled "配信登録" for "PROD_Readjson_03 1.0.0". It shows a list of applications under the "Plan" section, with "Test_AP_LReadjson_01" selected. A red dashed oval highlights the "配信登録" (Delivery Registration) button at the bottom right of the modal.
- 正常に利用登録できたことを確認 (Right):** The main API product page again, showing the same plan. A green success message at the top states "このプランのサブスクリプションに成功しました." (Subscription to this plan was successful).

2-2 APIを使用（利用登録）する利用者側の設定と利用手順

2-2-3 API製品の利用停止（登録解除）

API製品の利用を止める場合、利用登録を停止します。

[手順1] 開発者ポータル画面にて、API製品を利用登録しているアプリケーションを開きます。

[手順2] 配信登録欄の“登録解除”をクリックします。確認画面が表示されるので、再度“登録解除”をクリックします。
正常に処理されたメッセージが表示されれば完了です。Stripe上では、次回以降の支払いはキャンセルされます。

The image shows two screenshots of the IBM API Connect /dev portal. The left screenshot is titled 'Test_API_Readjson_01' and shows the application's details, including its client ID and secret. The right screenshot shows the confirmation step for de-enrollment, where the 'Unsubscribe' button is highlighted. A red arrow points from the 'Unsubscribe' button in the confirmation dialog to the 'Unsubscribe' link in the application's details page.

Left Screenshot: Application Details

- Application Name: Test_API_Readjson_01
- Client ID: (redacted)
- Client Secret: (redacted)
- Subscription: prodreadjson03 (1.0.0) (Test_Plan_10)
- Actions: 詳細の表示, 登録解除 (highlighted with a red oval)

Right Screenshot: Confirmation Dialog

- Header: IBM API Connect /dev
- Buttons: 登録解除 (highlighted with a red oval), キャンセル
- Message: アプリケーションが正常にアンサブスクライブされました。
- Application List: Test_API_Readjson_01
- Header: 詳細
- Application Name: Test_API_Readjson_01
- Actions: 更新 (highlighted with a red oval)



3. 新機能利用における考慮点

3-1 API製品管理者側の考慮点

3-2 API利用者側の考慮点



3-1 API製品管理者側の考慮点

3-1-1 API製品提供する組織とStripeアカウントとの紐付け

- 製品提供を行う組織(プロバイダー組織)は、利用登録されたAPI製品への支払いの管理をStripeアカウントを利用して行います。
- API Connectでは、製品/カタログ提供を行う組織(プロバイダー組織)を複数作成することができ、この組織毎に1つのStripeアカウント(公開/秘密キーのセット)を紐付けることができます。
※同じStripeアカウントを複数のプロバイダー組織に紐付けることは可能です。
- 支払い管理を分離/分割したい場合は、API Connect上でプロバイダー組織を分ける必要があります。

API Manager画面

タイトル	最終変更	タイプ
API_Healthcheck_02 1.0.0	14日前	REST
API_Readjson_01 1.0.0	14日前	REST

Cloud Manager 組織画面

表示名	名前	所有者	状況	アクティベーションされた日時
APIC_TEST	apitest	Masahiro Yokozeki	アクティブ	数秒前
APIC_TEST2	apitest2	Masahiro Yokozeki	アクティブ	13日前

ココの“組織”単位で
Stripeアカウントを
紐付ける

Stripe ダッシュボード画面

API キー

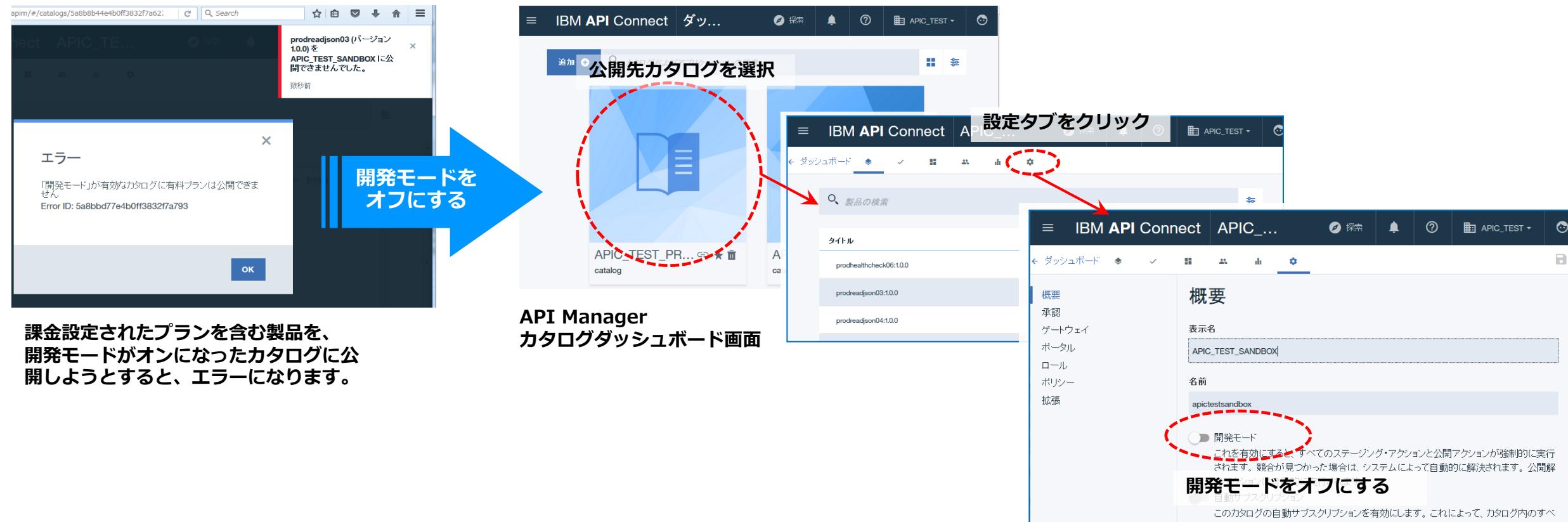
キーの名前	トライアル	最終使用日	作成日
pk_test_psowK...J7SuqCQvzb...0k1c	2018年3月2日	2018年2月15日	2018年2月15日
sk_test_BcshZY4cGN...JWrv8f...0ChNL	2018年3月2日	2018年2月15日	2018年2月15日

支払い管理を分離/分割する場合は、
ココで組織を複数作成し、
それぞれにStripeアカウントを用意する。

3-1 API製品管理者側の考慮点

3-1-2 製品公開におけるカタログのモード制限

- 課金設定された有料プランが設定されたAPI製品を公開する場合、公開する先のカタログは開発モードをオフにしておく必要があります。
※開発モードの詳細はこちら(https://www.ibm.com/support/knowledgecenter/ja/SSFS6T/com.ibm.apic.apionprem.doc/create_env_507.html)を参照してください。
 - カタログの開発モードは、ダッシュボード画面から対象のカタログを選択し、“設定”タブ内の“概要”メニューでオフにすることができます。



3-1 API製品管理者側の考慮点

3-1-3 Stripeテスト環境の利用と本番環境への切替え

- 2-1で前述したように、Stripeアカウントを登録した直後に利用できるStripe環境は、テスト環境のみが利用できる状態です。
- テスト環境にて発行された公開/秘密キーはテスト用であり、そのキーで公開されたAPI製品を利用登録しても、支払いが行われることはありません。テストフェーズが完了して本番移行し、実際に課金を行うようになる場合には、本番用のキーを発行して再登録する必要があります。
- 本番環境利用するときはStripeのガイドに従い、本番環境利用の申請を行ってください。

Stripeダッシュボード画面

The screenshot shows the Stripe dashboard interface. On the left, there's a sidebar with various navigation links: Home, Payments, Balances, Customers, Radar, Recurring Payments, Connect, Orders, API, Events, Test Data (unchecked), and Business Settings. A red dashed circle highlights the '本番環境利用の申請' (Production Environment Use Application) link under the 'Home' section. A red arrow points from this link to the right-hand application form.

本番環境利用の申請

We need to learn more about you and your business before you can process payments on Stripe. [Learn more →](#)

Where are you based?

Country: United States [Don't see your country?](#)

Your product

Tell us about your business

What products do you sell? Who do you sell to? When do you charge your customers?

This screenshot shows the 'Production Environment Use Application' form. It asks for basic information like location and business details. The 'Country' dropdown is set to 'United States'. There are two text input fields: one for describing the business ('Tell us about your business') and another for listing products/sales details ('What products do you sell? Who do you sell to? When do you charge your customers?').

3-2 API利用者側の考慮点

3-2-1 開発者組織とクレジットカード情報の紐付け

- API製品を利用登録するコンシューマーは、事前に登録したクレジットカードでその支払いを行います。
- API Connect 開発者ポータルでは、開発者組織を複数作成でき、この組織毎に1つのクレジットカードを登録することができます。
※同じクレジットカードを複数の開発者組織に紐付けることは可能です。
- 複数のクレジットカードを使用して、支払い管理を分離/分割したい場合は、開発者ポータル上で開発者組織を分ける必要があります。

Innovate with our APIs

Welcome to our API portal where you will find a great selection of APIs for your awesome innovative applications.

Featured APIs

開発者ポータル画面

Organization	Credit Card
Org01	Card ending in: 4242 Card expiration: 3/2022
TestGroup_10	
TestGroup_03	
TestGroup_04	
TestGroup_05	
TestGroup_06	
TestGroup_11	
TestGroup_07	
TestGroup_08	
TestGroup_09	

自分の組織

管理 分析 **Billing**

The current billing information for your developer organization is displayed here through the process.

連絡先情報

Name: e27665
Eメール: e27665@gmail.com

Credit card

Card ending in: 4242
Card expiration: 3/2022

更新

開発者組織のBilling情報画面

3-2 API利用者側の考慮点

3-2-2 複数のアプリケーションで配信登録した場合の考慮点

- 1つの製品を1つの開発者組織内の複数のアプリケーションで配信登録した場合、2つ目以降の配信登録が課金されません。
- この事象は製品障害によるもので、APAR LI80030(CONSUMER APPLICATIONS SUBSCRIBED TO THE SAME MONETIZED PRODUCT/PLAN SHOULD BE INDIVIDUALLY CHARGED)がオープンされており、修正予定です。 (2018年3月現在)

The diagram illustrates a user interface for managing API applications and their subscriptions, showing a discrepancy between the application interface and the payment processing system.

Left Side: Application Management Interface

A screenshot of the IBM API Connect /dev interface shows the "Plans" section. A modal window titled "Subscribe" is open, prompting the user to select an application to sign up to a plan. Two applications are listed: "Test_API_Readjson_16" and "Test_API_Readjson_17". A red dashed circle highlights this selection area. A blue callout box at the top of the interface reads "事前にアプリケーションを2つ登録しておく" (Register 2 applications in advance).

Right Side: Payment Processing System

Two screenshots of the payment processing system are shown:

- Top Screenshot:** A table of transaction logs for "APICQIT03". It shows four entries. The first entry is highlighted with a red arrow and a red box, indicating a successful charge of ¥3,000. A blue callout box next to it says "1つ目の配信登録は正常に課金される" (The first delivery registration is charged normally).
- Bottom Screenshot:** Another view of the same transaction log. The same four entries are shown. A red arrow points to the second entry, which is a charge of ¥1,500. A blue callout box below it says "2つ目は正常に配信登録されるが、Stripe上で支払い情報が更新されない" (The second delivery registration is successful, but the payment information is not updated in Stripe).

Annotations

Red arrows connect the highlighted areas in the application management interface to the corresponding entries in the payment processing system, highlighting the inconsistency where only the first registration is charged while subsequent ones are not.

3-2 API利用者側の考慮点

3-2-3 支払いに利用できるクレジットカードの種類

- Stripeのオンライン決済で利用できるクレジットカードは、以下の3つです。 (2018年3月現在)

VISA

Master

AMEX

3-2-4 支払いが発生するタイミング

- 月次前払いとなります。

利用登録を開始した時点からトライアル期間が経過すると、提示された月額で初回月分の支払い決済がStripeで実施されます。
以降毎月同日に定期支払い処理が同様に実施されます。

トライアル期間が0で設定されているプランの場合は、利用登録すると即時に初回月分の支払い決済が実施されます。

3-2 API利用者側の考慮点

3-2-5 通貨の異なる複数のAPI製品プランの利用登録における注意点

- API製品の月額利用料金は、日本円、米ドルをはじめ様々な通貨で製品プランに設定することが可能ですが、Stripeの仕様により、異なる通貨で設定された複数のプランを、1つの開発者組織で利用登録することができません。
(下図に示したようなエラーとなります。)

例えば、ある開発者組織で、最初に日本円で提示されたAPI製品プランを利用登録した場合、次に日本円以外の通貨で設定されたAPI製品プランを利用登録することができません。

異なる通貨で設定された複数のプランを利用登録する場合は、その通貨用に開発者組織を別途作成し、その組織にて利用登録してください。このとき、クレジットカードは同じものを登録・使用できます。

The screenshot shows the 'API 製品' (API Product) section of a web application. At the top, there is a navigation bar with links: Home, Getting started, API 製品, アプリケーション, Blogs, Forums, Support, and a search bar. A red dashed oval highlights an error message: '請求ゲートウェイに対して無効なデータ・フォーマットが送信されました。' (An invalid data format was sent to the request gateway.) Below this, the product details are shown: PROD_Readjson_12 1.0.0, a brown circular icon with a stack of documents, and a five-star rating with the text 'まだ投票はありません'. The main content area has a heading '通貨の異なるプランを同一開発者組織で利用登録しようとしたときのエラー' (Error when trying to register plans in different currencies under the same developer organization). Below this, there is a table titled 'プラン' (Plans) with two rows: 'Test_Plan_24' and 'Test_Plan_23'. Under 'Test_Plan_24', it says 'API_Readjson_01 1.0.0' with a dropdown arrow, '5/分', and 'Pricing' with '5000 JPY per month (1 day trial period)'. Under 'Test_Plan_23', it says '5/分' and 'Pricing' with '50 USD per month (1 day trial period)'.

API製品詳細画面



4. 参照情報

API Connect 製品マニュアル (IBM Knowledge Center)

Stripeについて



4. 参照情報

API Connect 製品マニュアル (IBM Knowledge Center)

- IBM API Connect 5.0.x (製品マニュアルトップ)
https://www.ibm.com/support/knowledgecenter/ja/SSMNED_5.0.0/mapfiles/getting_started.html
- このリリースの新機能 (V5.0.8)
https://www.ibm.com/support/knowledgecenter/ja/SSMNED_5.0.0/com.ibm.apic.overview.doc/overview_whatsnew.html
- 製品の使用に対する請求
https://www.ibm.com/support/knowledgecenter/ja/SSMNED_5.0.0/com.ibm.apic.apionprem.doc/capim_product_billing.html#capim_product_billing
- 着信請求先情報の追加
https://www.ibm.com/support/knowledgecenter/ja/SSMNED_5.0.0/com.ibm.apic.apionprem.doc/tapim_mon_add_incom_bill.html
- 有料サブスクリプション・プランの定義
https://www.ibm.com/support/knowledgecenter/ja/SSMNED_5.0.0/com.ibm.apic.apionprem.doc/tapim_mon_create_plan.html
- 有料サブスクリプションのクレジット・カード情報の追加
https://www.ibm.com/support/knowledgecenter/ja/SSMNED_5.0.0/com.ibm.apic.devportal.doc/tapim_add_cc_account.html
- チュートリアル: 価格設定をともなう API 製品のサブスクリプション・プランの定義
https://www.ibm.com/support/knowledgecenter/ja/SSMNED_5.0.0/com.ibm.apic.apionprem.doc/tutorial_apionprem_monetization_offer.html
- チュートリアル: 価格設定を伴うプランの利用登録
https://www.ibm.com/support/knowledgecenter/ja/SSMNED_5.0.0/com.ibm.apic.devportal.doc/tutorial_portal_sub_paid_plan.html
- 請求の構成のトラブルシューティング
https://www.ibm.com/support/knowledgecenter/ja/SSMNED_5.0.0/com.ibm.apic.apionprem.doc/r_ts_billing.html

4. 参照情報（続き）

Stripeについて

- Stripe 全般・概要
<https://stripe.com/>
- Stripe 仕様詳細等（Stripe Docs）
<https://stripe.com/docs>
- Test card numbers and tokens
<https://stripe.com/docs/testing#cards>



End of File

